

平成 25 年 5 月 8 日

各位

会社名 株式会社 新生銀行
 代表者名 代表取締役社長 当麻 茂樹
 (コード番号 : 8303 東証第一部)

平成 25 年 3 月期 通期業績について ～第一次中期経営計画の財務目標を達成～

当行の、第一次中期経営計画(平成 22 年度から平成 24 年度)の最終年度である平成 25 年 3 月期通期(12ヶ月)の連結当期純利益は前期比 446 億円増加の 510 億円、同キャッシュベース¹純利益は 604 億円となりました。また、単体当期純利益は前期比 108 億円増加の 246 億円となり、1 円の期末配当を予定通り実施いたします。

当行は、第一次中期経営計画の基本コンセプトである「顧客基盤の再構築」と「収益力の安定化」については、所期の目標を概ね達成いたしました。これを踏まえ、明確な戦略確立と持続的な成長を追求し、第二次中期経営計画(平成 25 年度から平成 27 年度)の目標の達成に注力してまいります。

業績

(単位:億円、%)

| | 平成25年3月期 通期(12か月) | 平成24年3月期 通期(12か月) | 増減率 |
|-----------------------------|----------------------|----------------------|--------|
| 業務粗利益 | 1,990 | 2,029 | △1.9% |
| 経費 | 1,286 | 1,279 | 0.5% |
| 実質業務純益 | 703 | 749 | △6.1% |
| 与信関連費用 | 55 | 122 | △55.0% |
| 当期純利益 | 510 | 64 | 694.3% |
| キャッシュベース ¹ 当期純利益 | 604 | 160 | 276.2% |

- **業務粗利益**は、主に消費者金融業務の貸出残高の減少により資金利益が減少したことから、非資金利益は顧客取引の推進などにより前期比増加したものの、前期の 2,029 億円から 1,990 億円に減少。
- **経費**は、業務の効率化を継続しつつも、戦略分野への経営資源投入やシステム整備などにより、前期の 1,279 億円から 1,286 億円へと増加。
- **与信関連費用**は、継続的なノンコア資産などの圧縮などによって、従来のような大口の引当が生じなかったことに加え、償却済み債権の回収もあり、与信関連費用は 55 億円で、前期の 122 億円から大幅に改善。
- **連結当期純利益**は、業務粗利益は減少したものの、与信関連費用は大幅に改善。さらに、当期は利息返還損失引当金の追加繰入を実施しなかったことから、前期の 64 億円から当期は 510 億円へと大幅な増益。
- **単体当期純利益**は、ベースとなる収益力が安定的かつ堅調に伸びたことに加え、与信関連費用が前期比大きく改善したことから、前期の 138 億円から 246 億円に大幅に増益。
- **総資産**は、平成 24 年 3 月末の 8 兆 6,096 億円から 9 兆 293 億円へ 4,196 億円増加。貸出金は消費者金融子会社で減少したものの、法人向け貸出、住宅ローンなどを着実に実行したことから、同年 3 月末比で 1,556 億円増加し、4 兆 2,924 億円。

資本および流動性

- 自己資本比率は、内部留保の着実な積み上げに加え、リスクアセットが、最適化への継続的な取り組みにより平成 24 年 3 月末の 6.1 兆円から 5.8 兆円に減少したことから、連結自己資本比率 12.24%、Tier I 比率 10.41%と、それぞれ 1.97 ポイント、1.61 ポイント改善。
- 不良債権残高は引き続き減少し、総与信残高も増加した結果、不良債権比率も平成 24 年 3 月末の 6.66%から 1.34 ポイント低下し 5.32%。また、保全率も 95.9%と引き続き業界有数の高い水準を維持。
- 流動性は十分に確保し、平成 25 年 3 月末現在の手元流動性は約 1.3 兆円と引き続き高い水準。

平成 26 年 3 月期通期業績予想

- ◇ 平成 26 年 3 月期連結通期予想については、今後は非経常的な要因の影響が限定的なものとなり、巡航速度での業務運営が期待できることから、連結当期純利益予想は 480 億円、同キャッシュベース¹純利益予想は 560 億円。
- ◇ 単体当期純利益予想については、経営健全化計画の 260 億円。
- ◇ 配当も経営健全化計画どおり、期末 1 円配当を予想。

¹ 純利益(または純損失)からのれんに係る償却額及び企業結合に伴う無形固定資産償却とそれに伴う繰延税金負債取崩を除いたもの

平成 25 年 3 月期 通期業績の要点

(単位: 億円、%)

| | 平成25年3月期 通期(12か月) | 平成24年3月期 通期(12か月) | 増減率 |
|--|----------------------|----------------------|-----------|
| 業務粗利益 | 1,990 | 2,029 | △1.9% |
| 経費 | 1,286 | 1,279 | 0.5% |
| 経費率 | 64.6% | 63.1% | - |
| 実質業務純益 | 703 | 749 | △6.1% |
| 与信関連費用 | 55 | 122 | △55.0% |
| 当期純利益 | 510 | 64 | 694.3% |
| キャッシュベース ¹ 当期純利益 | 604 | 160 | 276.2% |
| 1株当たり当期純利益 | 19.24円 | 2.42円 | 694.3% |
| 同キャッシュベース ¹ (円) | 22.77円 | 6.05円 | 276.2% |
| ROE | 8.6% | 1.2% | - |
| キャッシュベース ¹ ROE ² | 11.1% | 3.2% | - |
| ROA | 0.6% | 0.1% | - |
| キャッシュベース ¹ ROA | 0.7% | 0.2% | - |
| (単体)業務粗利益 | 933 | 948 | △1.6% |
| (単体)経費 | 673 | 626 | 7.4% |
| (単体)実質業務純益 | 259 | 321 | △19.2% |
| (単体)与信関連費用 | △12 | 109 | △111.4% |
| (単体)当期純利益 | 246 | 138 | 77.4% |
| | | | |
| | 平成25年3月末 | 平成24年3月末 | 増減率 |
| 総資産 | 90,293 | 86,096 | 4.7% |
| リスクアセット | 58,477 | 61,025 | △4.2% |
| 1株当たり純資産(円) | 233.65 | 212.67 | 9.9% |
| 自己資本比率(バーゼルII、F-IRB) | 12.24% | 10.27% | 1.97ポイント |
| Tier I 比率 | 10.41% | 8.80% | 1.61ポイント |
| 金融再生法上の開示不良債権比率(単体) | 5.32% | 6.66% | △1.34ポイント |
| 金融再生法上の開示不良債権の保全率(単体) ³ | 95.9% | 96.7% | - |

¹ 当期純利益からのれんに係る償却・減損額及び企業結合に伴う無形固定資産償却・減損額とそれに伴う繰延税金負債取崩額を除いたもの

² 分母については、(期首の(自己資本-のれん-企業結合に伴う無形資産(繰延税金負債控除後))+ (期末の同金額)) / 2として計算

³ 金融再生法上の開示不良債権の保全率 = 貸倒引当金および担保・保証等による保全額の合計 / 開示不良債権額

当期決算の詳細については、以下当行 URL(「決算・財務情報」メニューの中の「四半期決算情報」)をご覧ください。

URL: http://www.shinseibank.com/investors/ir/financial_info/quarterly_results/index.html

以上